

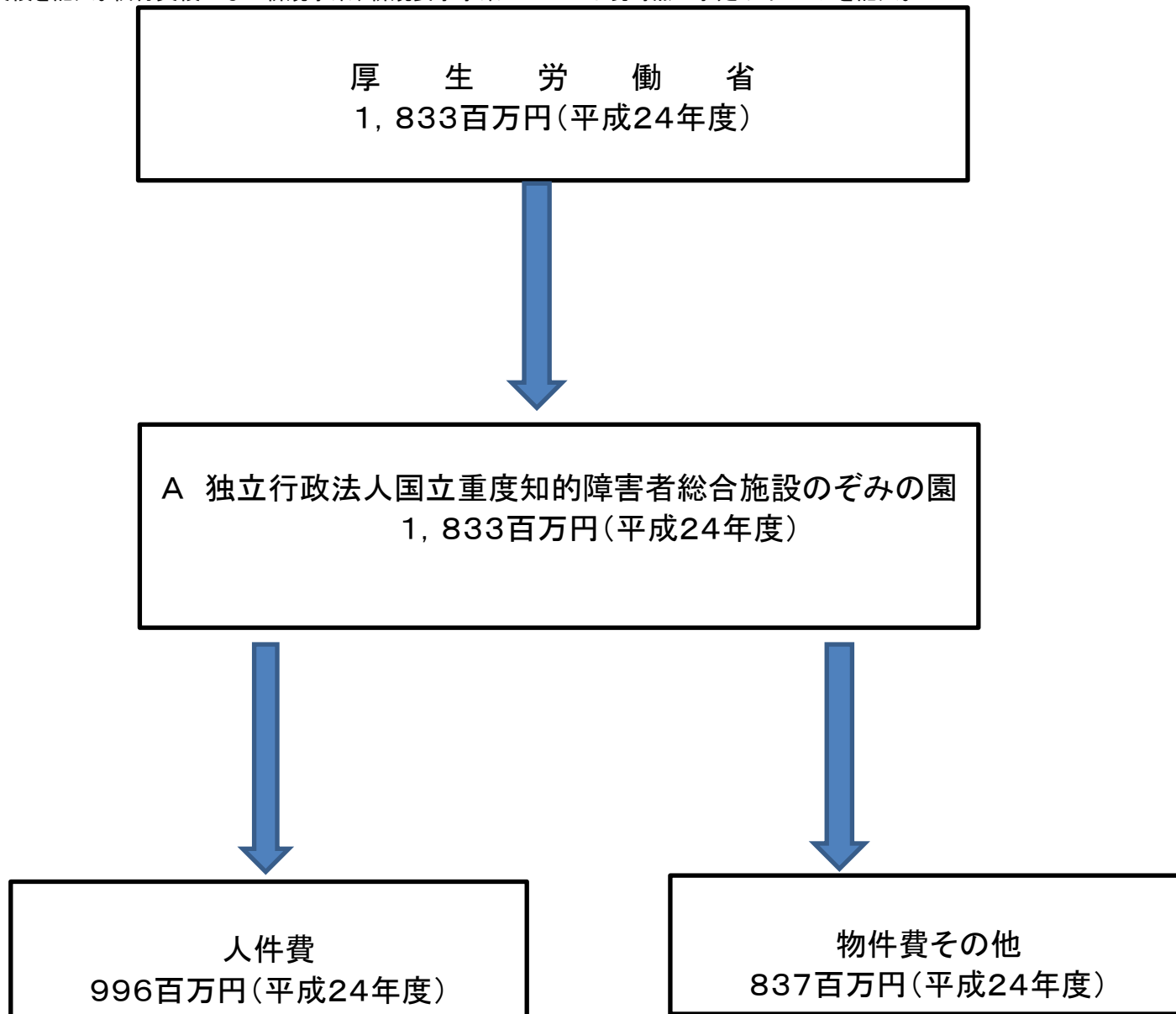
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園運営費交付金に必要な経費		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	企画課施設管理室		佐藤潤		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条		関係する計画、通知等	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園第三期中期計画(H25.3.29)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の業務に必要な財源に充てるために運営に要する経費(人件費、一般管理費等)を交付している。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	次の業務に必要な運営に要する経費を交付 ①重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援を提供するための施設を設置し、運営。 ②知的障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するための効果的な支援の方法に関する調査、研究及び情報の提供。 ③障害者支援施設において知的障害者の支援の業務に従事する者の養成及び研修。 ④知的障害者の支援に関し、障害者支援施設の求めに応じた援助及び助言。 ⑤附帯業務。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	2,264	2,261	1,977	1,845	1,909	
		補正予算			△144			
		繰越し等						
	計		2,264	2,261	1,833	1,845	1,909	
	執行額		2,264	2,261	1,833			
執行率(%)		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	地域移行者数	成果実績	人	22	21	18	-	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	入所者数	活動実績 (当初見込み)	人	342	314	292	-	
					-	-	-	-
単位当たりコスト	-			算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	運営費交付金	1,845	1,909	「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」に準じて措置した給与減額について、法律の終了に伴う削減分の戻し分				
計	1,845	1,909						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園は、重度の知的障害者に対する先導的かつ総合的な支援の提供等を目的として行っている施設である。そのような事業を実施するために必要な経費であり、独立行政法人通則法第46条により交付している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	支出については、人件費や物件費などの法人運営に必要な経費に限定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	第2期中期目標(平成20年度～24年度)で設定されている業務運営の効率化に伴う経費節減(退職手当を除く運営費交付金の平成19年度比23%以上の節減)等に向けて、毎年度計画的に入所利用者の縮減及び常勤職員数の削減等の効率化を図り最終年度の平成24年度において目標を達成した。					
外部有識者の所見						
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	本経費については、コスト削減の観点から、経費の内容を精査し、効率化を図ること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業経費及び管理費のコスト削減による減					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	519	平成23年	472	平成24年	416

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

【事業概要】

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の業務に必要な財源に充てるために運営に要する経費(人件費、一般管理費等)を交付している。

なお、支出については、自己収入分や運営費交付金分の区分なく行っており、運営費交付金分に係る支出の内訳は、算出不能である。上記の金額は、参考までに、平成23年度法人全体の支出額の割合から算出したものです。

A.独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員人件費	996			
物件費その他	光熱水量、通信運搬費、雑役務費等	837			
	金額については、平成23年度法人全体の 支出額の割合から算出				
計		1,833	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供、知的障害者の支援に関する調査及び研究等を実施	1,833		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					